

町の未来を担う次世代が、共に学び、つながる場としての新たな取組み

2月5日(水)、地域交流センターはなももで、町主催の「未来づくり勉強会 および異業種交流会」を開催しました。これは、「揖斐川町をよくしたい」という気持ちを持つ人たちが、共に学びながら、つながって化学反応を起こす」ことを目的とした新たな取組みで、町内外から120人以上が集まりました。未来づくり勉強会では、OKB総研 マネージングディレクターの大里裕幸さんから、まちづくりの事例についてお話しいただきました。

また、異業種交流会では、参加者が名刺交換をして、新たなつながりづくりを行いました。参加者の75パーセントが50歳未満で、参加者は、「地域で頑張っている幅広い世代の人と話せてよかった。」「今日出合いのあった人と面白いことが生まれそう。」「次世代のみんなを盛り上げたい」など、近くに住んでいても、互いに知らなかった人たちが、この日に新しく出会いました。今後さまざまな展開に発展していくことが期待されます。



▲参加者との記念撮影

揖斐川町土地改良区と揖斐川左岸用水土地改良区が合併予備契約に調印しました

2月28日(金)、揖斐川町役場で、揖斐川町土地改良区と揖斐川左岸用水土地改良区が合併予備契約書に調印しました。

これは、農業、農村を取り巻く社会情勢が大きく変貌する中、地域の特性に応じた土地改良事業を実施し、水と農地および土地改良施設の管理主体である土地改良区がその役割を効率的に果たし、かつ、事業運営基盤の強化を図るため、合併するものです。

調印式では、揖斐農林事務所の奥村所長立ち会いのもと揖斐川町土地改良区の富田理事長、揖斐川左岸用水土地改良区の瀬古理事長が予備契約書に署名しました。

名称を揖斐川土地改良区と改め、6月1日の合併を目指します。



▲調印式の様子

瑞宝双光章を受章

令和元年9月11日に亡くなられた寺田昭土さん(谷汲岐礼)が、瑞宝双光章を受章され、富田町長よりご家族へ伝達が行われました。

寺田さんは、昭和34年4月に大日小学校(旧高鷲村)の教諭として赴任され、昭和37年4月からは大野小学校の教諭となり、揖斐小学校など、郡内の小学校に勤務されました。その後、北和中学校の教頭、長瀬小学校の校長に赴任され、平成9年3月に長瀬小学校で定年退職されました。退職後は、谷汲村文化財審議委員、揖斐川町文化財審議委員、揖斐川町教育委員として教育行政を力強く推進され、また、歴史・文化資料の編集委員として、多くの事業に貢献されました。

これらの生前の功績が認められ、今回の受章となりました。多大な功績に対し敬意を表しますと共に、心からご冥福をお祈りします。

